

令和7年度 第2回

芦屋市立公民館運営審議会

日時 令和8年2月12日午前10時30分

場所 芦屋市民会館 本館 203室

令和7年度 第2回公民館運営審議会資料

1. 報告事項（資料参照）

- (1) 令和7年度 芦屋川カレッジ及び大学院
- (2) 春・夏の公民館講座の実施状況について
- (3) 秋・冬の公民館講座の実施状況について
- (4) 公民館音楽会
- (5) 講演会・公開セミナー
- (6) 常設展示事業
- (7) 公民館ギャラリー
- (8) 夏休み子ども教室
- (9) にほんご教室
- (10) 兵庫県身体障害者社会学級事業

2. 協議事項

- (1) 令和8年度芦屋川カレッジ、芦屋川カレッジ大学院の募集要項
- (2) 令和8年度春・夏の公民館講座、公開セミナー
- (3) 公民館音楽会
- (4) 夏休み子ども教室
- (5) 常設展示事業
- (6) 兵庫県身体障害者社会学級事業

1. 報告事項

(1) 令和7年度 芦屋川カレッジ及び大学院

芦屋川カレッジ第42期生及び聴講生、大学院18期生

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第42期	日本文化コース	50	7	17	24
	世界文化コース	50	13	7	20
芦屋川カレッジ 聴講生	日本文化コース	50	15	27	42
	世界文化コース	50	24	30	54
芦屋川カレッジ 大学院18期		100	35	64	99

受講生の評価と今後の課題

講義内容に関するアンケートでは、受講生から「入学しなければ知ることができなかつた幅広いジャンルの講義に満足している」「一年間の学びを通じて心の栄養剤をたくさんいただいた」など、肯定的な評価が多く寄せられています。受講理由として最も多かったのは、学びの充実に加え、「人との交流」です。「多くの人とコミュニケーションが取れ、60歳以降の人生において貴重な機会をいただいた」といった感謝の声も届いています。

一方で、受講者の応募数は令和2年度以降減少傾向が続いており、現在、市民に広く芦屋川カレッジの存在を認知してもらうため、募集時期だけではなく、年間を通じて芦屋川カレッジの広報チラシを配布することや、公開講座を年間を通じて設定するなど広報に努めています。

大学院は芦屋市の特徴的な生涯学習プログラムのひとつであり、芦屋川カレッジを修了し、更に深く広範な学びを求める卒業生の要望に応えるものです。従って、カレッジでは多岐な分野の講座を設けていますが、大学院では1年間で学習する統一テーマを設け、理解を深めるため、それぞれの分野に関わる第一人者、大学教授を招聘しています。

今年度は「江戸時代～近代化前夜の日本～」とし、医学や教育、物流、美術など多岐にわたる分野について学習しました。また、今年度は定員を大きく超える受講申し込みがあったため、抽選にもれた方にも講義を受講する機会を提供するため、一コマを芦屋川カレッジ大学院公開講座としてルナホールで実施しました。

(2) 春・夏の公民館講座

春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
春の開講記念講座 会下山遺跡からみた近畿弥生社会 ～邪馬台国問題もからめながら～	4月5日	100	125	125	1回のみ	1回のみ
西洋美術史講座 北方ルネサンス美術の魅力	全3回 4月28日、5月12日、 6月23日	100	101	83	214	63
論語講座 人生100年時代を豊かに生きる「論語の知恵」	全2回 5月8日、6月12日	100	102	83	153	70
日本史講座 おかねの日本史—貨幣は誰が作ってきたのか—パート3	全2回 5月10日、6月7日	100	59	50	89	39
サイエンス講座 がんの診断と治療 一特に、その放射線の役割、画像検査と放射線治療	全2回 4月26日、6月7日	100	44	34	62	28
世界はニュースだけではわからない	全6回 4月19日、5月24日、 6月28日、7月5日、 8月30日、9月20日	100	91	83	368	26
田辺真人先生の「文化の歴史 Part31」	全6回 4月17日、5月15日、 6月19日、7月17日、 8月21日、9月18日	100	111	104	519	51
芦屋市立病院公開講座 『緩和ケア病棟について』	4月12日	100	29	29	毎月1回	毎月1回
芦屋市立病院公開講座 『血液がん治療について』	5月10日	100	43	43	毎月1回	毎月1回
芦屋市立病院公開講座 『胃腸を元気に長生き』	6月14日	100	37	37	毎月1回	毎月1回

夏の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
芦屋で暮らす ～国際文化都市のはなし～	全2回 7月4日、8月8日	90	49	44	82	38
芦屋の歴史 ～学芸員と探る芦屋の歴史	全2回 7月24日、9月25日	90	62	56	101	45
関西文化に育まれた文学 ～作家が描く日本の美～	全2回 8月28日、9月11日	90	84	70	124	55
日本美術の魅力 ～大阪を描く、大阪で描く～	全2回 8月22日、8月29日	90	78	70	124	38
芦屋市立病院公開講座 『心臓の豆知識』	7月12日	100	75	75	毎月 1回	毎月 1回
芦屋市立病院公開講座 『薬剤について』	8月2日	100	40	40	毎月 1回	毎月 1回

(3) 秋の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
秋の開講記念講座 「歌舞伎入門」	10月18日	90	92	92	1回のみ	1回のみ
田辺真人先生の『文化の歴史 Part32』 芦屋の生活・文化史から	全6回 10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月26日、3月19日	90	101	97	—	—
世界はニュースだけではわからない	全6回 10月25日、11月22日、12月20日、1月31日、2月21日、3月28日	90	90	78	—	—
西洋美術史講座 ドイツ・ルネサンス美術の魅力	全3回 10月10日、11月14日、12月12日	90	89	84	222	57
まちづくり講座 災害多発時代を生き抜く—超高齢社会のまちづくりと地域防災	全2回 10月9日、12月11日	90	67	54	95	41
サイエンス講座 生成AIを生涯学習の友に	全2回 11月21日、12月5日	90	91	78	139	61
芦屋市立病院公開講座 『出張！糖尿病教室』	10月11日	100	65	65	毎月1回	毎月1回
芦屋市立病院公開講座 『婦人科疾患と運動について』	11月8日	100	28	28	毎月1回	毎月1回
芦屋市立病院公開講座 『知っていれば怖くない乳がんのはなし』	12月13日	100	27	27	毎月1回	毎月1回

冬の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
「都市ローマをたどる」 — 永遠の都とされる都市ローマ 古代から現代まで	全2回 1月9日、2月6日	90	102	87	—	—
「日本美術の魅力」 ～生き続ける浮世絵～	全2回 1月30日、3月13日	90	88	—	—	—
「関西文化に育まれた文学」 ～近代児童文学への挑戦～	全2回 2月12日、3月5日	90	68	—	—	—
芦屋市立病院公開講座 『膵臓の病気について』	1月10日	100	65	65	毎月募集	毎月1回
芦屋市立病院公開講座 『がんってどんな病気 —がんの基礎知識—』	2月14日	100	—	—	毎月募集	毎月1回
芦屋市立病院公開講座 『変形性膝関節症の治療』	3月14日	100	—	—	毎月募集	毎月1回

(4) 公民館音楽会

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
「春風の織りなす景色～フルートとハープ」今田聡美（フルート）・上田あづ紗（ハープ）	全1回 5月24日	100	110	77
「夏色コンサート～歌とピアノで奏でる夏の夢～」十鳥可奈子（ソプラノ）、信多仁子（ピアノ）	全1回 7月12日	100	117	96
「trio sambop II ジャズ x サンバ」中島徹（ピアノ）、岩田晶（ベース）、植松波音（ドラム）	全1回 8月30日	100	140	121
「バロック音楽のごちそう～トリオ・ソナタの愉しみ～」大塚まゆみ・大津睦（バロックヴァイオリン）、内藤謙一（ヴィオラ・ダ・ガンバ）	全1回 10月11日	100	140	110
「花井結ヴィオラコンサート ヴィオラで奏でる色とりどりの午後」花井結（ヴィオラ）、新ゆう（ピアノ）	全1回 11月22日	100	140	105

(5) 講演会・公開セミナー

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
あかちゃん向け絵本の読み聞かせ会 (こどもの読書週間ポスター展 関連イベント)	全1回 5月12日	—	3組6名	3組6名
芦屋大学図書館所蔵稀観書展覧会 関連セミナー 「世界の織と染め」	全1回 5月22日	90名	28名	28名
人権セミナー 多文化日本の可能性—オーストラリアの変化から考える	全1回 5月29日	100名	45名	45名
親子ひろば 夏のお話し会と作って遊ぼう	全1回 7月19日	15組	17組	15組

平和セミナー 「青い目の人形」が伝える戦争と平和	全1回 7月25日	600名	51名	51名
平和セミナー 平和の光 絵本で灯す	全1回 8月9日	50名	18	18
消費生活セミナー 人生さいごまで自分らしく～伝えたいこと・残したいこと～	全1回 9月4日	60名	29名	29名
芦屋大学図書館所蔵稀観書展覧会 関連セミナー 「観無量寿経と親鸞聖人」	全1回 9月19日	90名	38名	38名
芦屋大学図書館所蔵稀観書展覧会 関連セミナー 「横尾忠則の最近」	全1回 1月16日	90名	31名	31名
消費生活セミナー 「人生百年時代お金の不安をなくすために今できること」	全1回 2月5日	60名		

(6) 常設展示事業

講座名	日時
「こどもの読書週間ポスター展」	4月28日～5月12日
芦屋大学図書館稀観書展覧会 第5回「世界の織りと染め」	5月22日～6月1日
「平和展－戦争と学校－」	7月16日～7月27日
「平和の絵本パネル展」	8月3日～8月16日
芦屋大学図書館稀観書展覧会 第6回「日本の宗教の書」	9月19日～9月28日
芦屋大学図書館稀観書展覧会 第7回 「コウベのアーティスト－小磯良平、菅井 汲、横尾忠則－」	1月16日～1月29日

(7) 公民館ギャラリー

「写楽会 作品展」	5月14日～5月19日
「淡遊会」	6月11日～6月16日
「篆刻展」	8月20日～8月25日
「芦屋郵趣会」	9月13日～9月15日
「魔法の手」	10月2日～10月8日
「陶芸きりん作品展」	11月19日～11月24日
「コミスク展」	11月26日～12月1日
「芦風会」	12月3日～12月8日
「芦労連オリーブ」	12月10日～12月15日
「デジイチ会」	12月17日～12月22日
「老人クラブ連合会」	2月4日～2月9日

(8) 夏休み子ども教室

企画の考え方

- ・能動的な学び：一方的に教えるのではなく、子どもたち自身が「なぜ?」「どうして?」と問いかけ、自ら考え、行動する体験学習や探究活動を重視します。
- ・多様な大人との出会い：さまざまな分野で活躍する専門家や地域の大人が講師として登場し、子どもたちは多様な価値観や生き方に触れることができます。
- ・地域全体の学びの輪：子どもたちに関わる大人が、自身の経験や知識を伝える場を設けることで、大人自身の学びにも繋がります。
- ・学びの機会均等：経済的な理由やその他の背景に関わらず、全ての子どもたちが多様な学習や体験プログラムに参加できるよう環境を整え、公平な学びの機会を提供します。

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 芦屋の歴史調査隊になろう!	15	20	12
② てん刻教室「好きな一字印を作ろう」(午前)	25	41	25
③ てん刻教室「好きな一字印を作ろう」(午後)	25	36	22
④ 「まが玉のアクセサリー作り」(午前)	16	37	16

⑤ 「まが玉のアクセサリ作り」(午後)	16	35	10
⑥ 手話で伝えよう！	30	21	14
⑦ ゲーム感覚で楽しく遊びながら体力づくり	30	40	26
⑧ わくわく・たのしい絵本 de 読書感想文	20 組	35 組	19 組
⑨ 水彩画教室「ひまわりを描こう(色の使い方)」(午前)	24	57	23
⑩ 水彩画教室「夏の素材を描こう(構図の取り方)」(午後)	24	31	22
⑪ 絵手紙を書いてみよう！	16	22	15
⑫ 作曲をしてみよう♪♪	25	29	20
⑬ 理科教室「万華鏡を作ろう」	30	73	23
⑭ 発見！チョコレートのみみつ	30	87	31
⑮ 室町時代からつづく演劇「能にふれてみよう」	18	10	9

(9) にほんご学級

講座名	回数	実績
にほんご学級	全 48 回 (含 2 回イベント) 毎週木曜日	23 名受講

公民館では日本語学習を希望する外国人のニーズに応え、草の根の国際交流の場を提供しています。支援者による七夕会や新年会など日本の文化体験も受講生に大変好評です。

ここ 1 年で新規の受講希望者が増えてきており、現在入会希望者 4 名が待機となっています。席の空きを待ちたいという希望者も多いのですが、長期間お待たせすることもよくないという判断で、現在は空席待ちリストも受付を止めています。教室の一人一人に寄り添うきめ細やかな質を維持しつつ、増える受講希望者にどのように対応していくかは、芦屋市国際推進課や、芦屋市に任命された「※芦屋市地域日本語教育コーディネーター」と情報を共有しながら、できるだけ受講生・受講希望者に応えたいと考えています。

(※「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」(文化庁)の一環として芦屋市が任命した「地域日本語教育コーディネーター」が学習の様子を見学に来られて「芦屋での日本語教育を円滑に進めるための調整」するなどの活動が始まっています。)また、ボランティアの質を保つことが非常に重要と考え、ボランティアを安易に増やすのではなく、教室のありかたを理解してくれるボランティアを育成していきたいと考えています。

(10) 兵庫県身体障害者社会学級事業

義務教育終了年齢以上の、障害者本人や、地域のニーズを踏まえた講座を実施し、障害者の社会参加・活躍を一層促進するため、兵庫県が当該運営委員会に事業を委託している。

令和7年度 阪神青い鳥学級南支部尼崎教室

概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障害者を対象とした教室で、
今年度は尼崎市が幹事。定員 尼崎市10人 西宮市10人 芦屋市10人

内容

- 9月25日 小田南生涯学習プラザ 開講式、詩吟教室～詩吟を楽しもう～
- 10月23日 尼崎城 尼崎城と阪神地区の歴史講座
- 11月27日 小田南生涯学習プラザ ICT講座、単独歩行ナビゲーションシステム他
コンサート ピアノ演奏&お話し みんなで歌おう、閉講式

令和7年度 阪神くすの木学級 宝塚教室

概要 阪神間の7市1町（芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町）に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で、今年度は宝塚市が幹事。
定員30人。

2. 協議事項

(1) 令和8年度 芦屋川カレッジ、芦屋川カレッジ大学院の募集要項

芦屋川カレッジの学習プログラムは、「文部科学省・長寿社会における生涯学習の在り方について（素案）」および「第3期芦屋市教育振興基本計画」に基づいて、必修コースでは生活基礎能力・地域を学ぶ・一般教養・社会貢献活動などの講座を計画しました。

選択コースは来年度から、4テーマ（ウェルビーイングと地域社会の未来、上方古典芸能の世界、ことばの力、阪神間の自然を学ぶ）、それぞれ5回のシリーズ講座とし2テーマを選択受講できるように改編しました。

また自主活動および放課後カレッジの時間を設け、受講生相互の懇親を図るとともに、修了後の同期会、同好会の立ち上げに資するグループ活動の時間を設定しました。更に、その発表の場として、修了後の6月に先輩同期会同好会グループとともに、公民館ギャラリーで展示会を開催いたします。

応募可能年齢につきまして、今年度59歳の方の応募があったことから、要望に応えられるよう、他シニアカレッジの募集年齢も参考に、60歳から56歳以上に変更いたしました。

芦屋川カレッジ大学院は、統一テーマを「旅と世界の想像力～人生と旅の行方を探求する」とし、長年にわたり当市の講座を受講されてきた受講者の成熟した知的好奇心に応えるべく、単発の知識提供ではなく、学際的な連続性を持たせた企画といたしました。これは単なる観光情報の提供ではなく、歴史、文学、芸術、哲学、心理学といった多岐にわたる学問領域から「旅」を多角的に分析する学際的な学びを主眼としています。受講生が自らの実体験としての旅と、知識とを融合させることで、「旅」「世界」「人生」について想像力をひろげ、知的で精神的な充実をもたらすものとして考えています。井沢元彦氏、大竹英洋氏、田辺真人氏、宮下規久朗氏など、各分野の第一人者や大学教授陣が、それぞれの視点から「旅」を論じる機会は稀有でもあり、受講者の知的好奇心を強く刺激する学習機会を提供いたします。令和7年度は応募が多く抽選に外れた人が多かったために設けた、大学院生以外も受講できる「公開講座」を、1回から3回に増やしました。

大学院創設時から続く自主系活動は、受講生が係に分かれ能動的に大学院の1年のカリキュラムを潤滑に進める大切な活動と位置付けるものであり、同じ係のなかでの仲間同士のつながりは、高齢者の社会参画のきっかけとなっています。

それぞれの入学案内、学習計画表を添付いたします。

(2) 令和8年度 春・夏の公民館講座、セミナー

春の公民館講座

講座名	講師	回数・日時	定員
春の開講記念講座 「ドラマ・映画製作の舞台裏」	堀之内礼二郎 (ミナトスタジオ代表)	4月4日	90
田辺真人先生の 『文化の歴史 Part33』 一芦屋の生活・文化史から (続 編) —	田辺真人 (県立兵庫津ミュージア ム名誉館長)	全6回 4月16日、5月21日、 6月18日、7月16日、 8月20日、9月17日	90
世界はニュースだけでは わからない	テーマに応じ、毎月、異 なる講師をお招きします	全6回 4月25日、5月23日、 6月20日、7月18日、 8月22日、9月26日	90
西洋美術史講座 ドイツ美術の魅力	宮下規久朗 (神戸大学大学院人文学 研究科 教授)	全3回 4月2日、5月7日、 6月18日	90
学芸員と探る芦屋の歴史	竹村忠洋 学芸員 森山由香里 学芸員	全2回 4月24日、5月29日	90
サイエンス講座 「量子力学の世界」	萩野浩一 (京都大学理 学研究科教授)	全2回 5月30日、6月27日	90
芦屋市立病院公開講座 『ベッドサイドで学ぶしあわせ 学～今を大切に生きるヒント ～』	緩和ケア内科 武田 亜衣 医師	4月11日	90
芦屋市立病院公開講座 『胆のうの役割、病気につい て』	外科 松本 謙一 医師	5月9日	90
芦屋市立病院公開講座 『脳卒中について』	脳神経内科 上田 周一 医師	6月13日	90

夏の公民館講座

講座名	講師	回数・日時	定員
未 定			

講演会・公開セミナー

講座名	回数・日時	定員
家庭教育セミナー 芦屋市 PTA 協議会と共催	1回 未定	90
消費生活セミナー 地域経済振興課と共催	1回 未定	60
親子ひろば 「作ってあそぼう」	2回 未定	30
絵本ひろば	1回 未定	30

(3) 公民館音楽会 (年間 5 回)

講座名	回数・日時	定員
「風薫るジャズの午後」 柏谷淳 (サクソ)、杉山悟史 (ピアノ)	4月25日 1回	100
「兵庫県文化賞受賞記念 北浦洋子ヴァイオリンコンサート」 (仮題) 北浦洋子 (ヴァイオリン)、坂本恵子 (ピアノ)	5月30日 1回	100
「トリオ・エスペランサ (希望)」 大本和司 (ヴァイオリン)、花井結 (ヴィオラ)、 成希蘭 (フルート)	8月22日 1回	100
「音楽とバレエ～イタリア」 (仮題) 芦屋大学経営 教育学部バレエコース、藤井真理子 (バレエ)、 菘あつこ (舞踊ジャーナリスト・お話) ほか	10月3日 1回	100
11月～令和9年3月の間で1回の実施を検討中		100

*芦屋市在住、出身者を中心とした演奏家、バレエダンサーにより、多様なジャンルの音楽の鑑賞機会を設けます。トークや解説をまじえ、一緒に歌うなど、音楽を身近に親しめるものにします。さらに芦屋ゆかりのアーティストと鑑賞者が交流し、新たな文化を育む可能性に満ちた活気ある場となることを目指しています。

(4) 夏休み子ども教室

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 音楽教室	24		
② てん刻教室「好きな一字印を作ろう」(午前)	25		
③ てん刻教室「好きな一字印を作ろう」(午後)	25		
④ 「まが玉のアクセサリー作り」(午前)	16		
⑤ 「まが玉のアクセサリー作り」(午後)	16		
⑥ 機織り教室			
⑦ 英語でカンフー教室	30		
⑧ 理科教室	30		
⑨ 水彩画教室「ひまわりを描こう」(午前)	24		
⑩ 水彩画教室「夏の素材を描こう」(午後)	24		
⑪ 絵手紙を書いてみよう!	16		
⑫ 食育教室			
⑬ グラレコ教室			
⑭ 未定			
⑮ 未定			

(5) 常設展示事業

芦屋大学図書館稀観書展覧会 第5回	4月17日～4月23日
カレッジ同期会・同好会活動展	6月7日～6月21日
芦屋大学バレエコース展示	9月18日～10月10日
読書週間ポスター展	10月26日～11月16日

(6) 兵庫県身体障害者社会学級事業；阪神青い鳥学級芦屋教室

視覚障害者を対象とした青い鳥学級は芦屋市担当となります。

9月より3日間、保健衛生に関する講座、神戸青少年科学館見学会、視覚障害者を対象とした手品、ミニコンサートなどを計画しています。